大仙市立内小友小学校

UCHI レポ

平成29年度　成果報告書

にこにこ　きらきら　ゆめにむかって

～みんなで育む豊かな心・健やかな体・確かな学力～

中期目標（平成29・30年度）

「あい」ある学校　～認め合い，話し合い，学び合い，高め合い～

平成29年度学校経営の重点

○思いやりの心・豊かな人間性の育成

○たくましく生きる心と体の育成

○主体的・対話的な学習をとおした確かな学力の向上

内小友小学校は「たのしい学校」づくりを進めています！

「た」 高め合う教師がいる学校

「の」 伸びようとする子どもがいる学校

「し」 信頼される学校

「い」 生きる力を育む学校

○授業研究会　～確かな学力向上のために～

1年　国語

2年　学級活動

3年　図工

4年　理科

5年　国語

6年　総合的な学習の時間

○みんなでつくる学校　～思いやりの心・豊かな人間性・たくましく生きる心と体の育成～

小中あいさつ運動

花火の里クリーンアップ

ハローの会

保育園訪問

ポケットさん読み聞かせ

なかよし縦割り班活動

業間運動

マラソン大会

PTA校地整備作業

田植え体験

地区民運動会

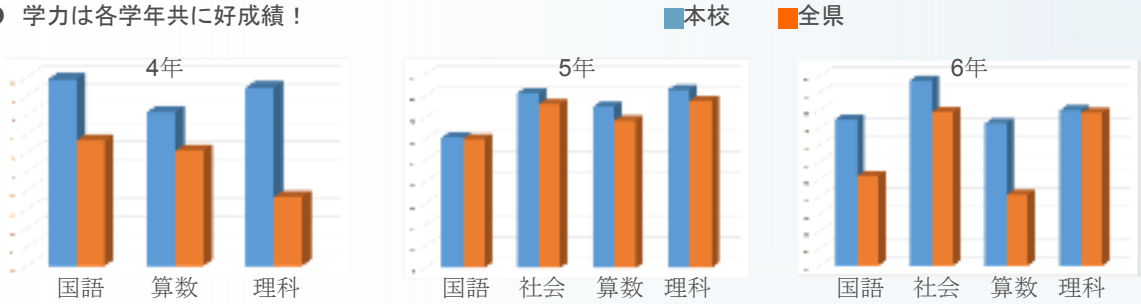
日体大集団行動

平成29年度　内小友小学校重点課題達成状況

	到達目標（今年）	具　体　的　施　策	到達指標	到達状況（自己評価）
思いやりの心、豊かな人間性の育成	自他のよさを活かす認め合う活動の充実	・元気なあいさつの励行（あいさつ名人，あいさつ集会） ・心のBF事業を活用した支援学校との交流 ・地域の方々との交流（祖父母参観，収穫感謝祭） ・「花火の里クリーンアップ」の実施	・児童アンケートで「元気なあいさつをした」の項目の項目で平均3.6以上	A ・児童会中心のあいさつ運動，あいさつ集会，あいさつ名人を発表した。 ・児童アンケート平均3.6
	読書活動の推進	・本貯金ファイルを活用した読書の記録 ・ぽけっとさんによる読み聞かせや交流 ・物語本読書の励行 ・「親子三世代読書の日」の実施	・一年間の読書冊数21冊以上の児童80%以上	A ・1年間の読書冊数21冊以上の児童89.8%
	集団の一員としての自覚と充実感をもたせる	・縦割り活動で達成感が感じられる活動の設定 ・めあてをもたせ一人一人を見取る評価 ・帰りの会等での「認め合いの場」の設定	・児童アンケートの「めあてをもって取り組む」の項目で平均3.8以上	B ・縦割り活動で，高学年中心に自分の役割をがんばったが，アンケート評価は平均3.7
たくましく生きる心と体の育成	食育指導の徹底	・完食を目指す給食指導 ・食育に関わる学校保健委員会の開催 ・通信を活用した保護者との連携	・給食完食100日の児童75%以上	A ・給食完食100日の児童 1年79%　2年76% 3年91%　4･5･6年100%
	体力づくりの習慣化	・業間運動（マラソン･縄跳び）の継続 ・体育的行事を活用した意欲付け ・児童会による外遊びの励行	・マラソン年間目標達成 50%以上	B ・目標達成児童 1年71%　2年81%　3 年100% 4年63%　5年67%　6年70%
	毎日元気に登校する児童の育成	・健康貯金の継続 ・学校生活全般をとおした保健指導 ・個人面談を活用した不登校への早期対応	・全校欠席０の日年間60日以上	B ・全校欠席０　2月26日現在47日
主体的・対話的な学習をとおした確かな学力の向上	子どもに分かりやすい授業を支える学習環境づくり	・児童の思考の流れが分かる板書構成の工夫 ・足跡や学び直しが見える学習コーナーの設置 ・図書コーナーの充実	・「授業が分かりやすいと回答する児童」80%以上	B ・児童の回答89% ・学習コーナーの活用60%
	基礎学力の向上	・チャレンジテストと家庭学習の連動 ・計画的なチャレンジタイムの運用	・合格者率80%以上	B ・合格者率各回平均82%
	分かりやすく話したり，説明したりする力（表現力）を身に付けさせる	・ねらいにつながる話合いの設定 ・学年に応じた聴き方や話し方の指導（つなぐ言葉を含む） ・自分の理解やがんばりを意識できる振り返りの視点の設定	・「分かりやすく話す」50% ・教師アンケート平均2.8以上	B ・児童の回答 71% 指導者の回答 66.5% ・話す→2.5　聴く→2.875

平成29年度秋田県学力・学習状況調査から見えた成果と課題

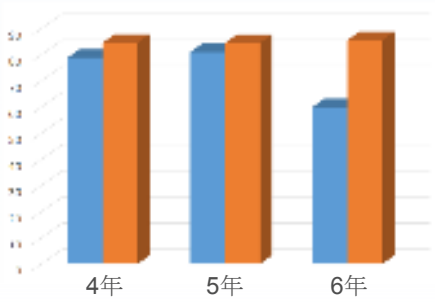
● 学力は各学年共に好成績！



上のグラフの通り，全学年全教科で県平均を上回ることができました。大仙市平均も上回っています。1年生から3年生で行ったCRT学力検査でも全国平均を上回っており，子どもたちは，着実に力を付けてくれています。これは，「聴き方」などの学習規律が定着し，落ち着いて日常の学習に取り組めている成果だと思います。しかし，設問ごとに見てみると，自分の考えを分かりやすく記述する問題等には弱さも見られます。より「考える授業」を目指し，「学びの過程」を機能させながら，自分の考えを分かりやすく言える力を育てていくことが今後の課題です。

● 「自己有用感」の醸成に課題あり　本校　全県

右のグラフは，質問紙調査での「自分にはよいところがある」で，あてはまる，どちらかといえばあてはまる，と答えた児童の割合です。私たちは，日頃から児童を大いに褒め，認めるよう心がけていますが，残念ながら各学年，県平均を下回りました。子どもたちの内面のよさにも目を向けながら，一人一人に「あなたのよさ」をもっと伝えていかなければならないと感じています。学校でも家庭でも，子どもたちの努力をしっかりと見取り，その努力を具体的に言語化して認めてあげることで，自己有用感の醸成につなげていきたいと思います。



大仙市立内小友小学校

〒014-0073
大仙市内小友字四ツ村35番地

電話: 0187-68-2345
FAX: 0187-86-4041
電子メール:
om-uchisyo@edu.city.daisen.akita.jp

がんばっています！「みんなの目標」

1　声を出そう

「あいさつ」→誰にでも，自分から先に，をもっとできるように。

「返事」→大きな声ではっきりした返事は気持ちがいいです。

「歌声」→正しい発声法で，のびやかに歌えるようがんばっています。

2　しっかり話そう　しっかり聴こう

「話し方名人かきくけこ」「聴き方名人あいうえお」を各学級で活用しました。話す人の方を向いて聴くことができていますが，「うなずきながら」「えがおで」がもう一歩です。

3　たくさん本を読もう（全校2000冊）

全校2000冊の目標は軽くクリアし6000冊を超えました。たくさん本を読んだ人を表彰する予定です。家庭でも親子一緒に読書に取り組んでみてはどうでしょうか。

4　全校欠席0（年間60日）

47日（2月26日現在）

※出席停止や忌引等で欠席が出た日を除けば，60日を達成！